

## 放課後等デイサービス自己評価表結果に基づく改善目標の設定

### 1. 29年度事業者向け課題①②

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

② 職員の配置数は適切であるか

- 中高生をお預かりしているので定員になると部屋が狭く感じてしまう。
- 机の幅が狭い。
- 利用人数が多い時には訓練するテーブルが足りなくなる。
- 利用者の進捗状況がそれぞれ違うのでグループで訓練を行うことが多い、そうすると職員が多い方がより良い支援に繋がる。
- 女子より男子利用者が多い、しかし男子職員の方が少ないのでコミュニケーション等ケアできることも限られてしまう。

#### 改善策

- 利用人数・訓練内容に応じて、外での活動等を設ける
- 男性職員の増員の検討

#### 改善目標

カリキュラムの内容・進め方を検討する

### 2. 29年度保護者向け課題⑧⑩⑪

⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解ができているか

⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

⑪ 子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

- 保護者が楽しめる企画というよりは、こちらが伝えたいことの企画になってしまう。
- 家庭の都合で参加できないという方も多かった。
- 祝日に行くことが多いので、参加が少ないのではと考えられる

## 改善策

- 懇談会を土曜日又は日曜日に開催する。
- 懇談会の内容を再度検討し直す。  
→保護者が参加したくなるような企画  
→親子遠足・ボウリング大会・食事会
- 保護者だけの懇談会または、子どもチーム・大人チームに分けての懇談会開催
- 保護者からのご意見をいただくという観点で考えると、外に出てランチを食べながら和やかに歓談する形式もありではないか。
- 少人数のグループディスカッション形式にする。
- 事業所主体の懇談会が年2回開催しているので、保護者が楽しめる懇談会を更に1回追加する。
- 土曜開放の時に懇談会を開催する。
- 懇談会に参加できない方、参加しても意見・要望・苦情などが言いにくい方の為にHPに書き込みができるようにする。

## 改善目標

懇談会の内容に幅を持たせ充実させる